

5 学年 2 組 国語科学習指導案

児童 男子 16 名 女子 17 名 計 33 名
指導者 清水 章男

- 1 単元名 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう
学習材 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十（光村図書 5 年）

《付けたい力》

- ◎ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。（読工）
○ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。（読才）

作品の表現をもとに、
物語の魅力を紹介する。

2 単元について

(1) 児童について

児童は、「C 読むこと」の指導事項エとオの力を付けることをねらった単元としては、「なまえつけてよ」で登場人物の人物像を捉えたり、登場人物の関わりを気をつけて読んだりする学習を経験し、また、作品の叙述と自分の考えを関連付けて交流する活動を経験してきている。

今までの学習を通して、児童は、文章を読んで理解したことを基に自分の考えを持つことができるようになってきている。そして、自分の考えを伝え合うなかで、他者との違いを感じたり新たな考え方に気付いたりして、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになってきている。しかし、叙述に即して具体的に想像する力や自分の考えを広げたり深めたりまとめる力については個人差がある。多くの友達の考えに触れることを通して、物語の世界を具体的に描いたり、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしていきたい。

(2) 学習材について

学習材である「大造じいさんとガン」は、ガンの頭領「残雪」と、狩人「大造じいさん」との間に繰り広げられる生存のための厳しい闘争を通じて、美しいもの、感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が、緊迫した雰囲気の中で生き生きと描かれている物語である。場面は四つで構成されており、大造じいさんと残雪の関わりが変化しながら話が進行していく。大造じいさんと残雪の関係や心情の変化を、特に情景描写に着目して読み、作品の魅力として伝え合うのに適した学習材である。

(3) 指導について（研究内容との関わり）

① 児童が解決したいと思う課題の設定

児童が主体的に学習に関わっていくことができるようにするために、「物語の魅力伝え合う」ことを学習のゴールとして設定する。そのために、物語の魅力の観点を確認したり学習計画について話し合ったり、目的意識を持ちながら学習の見通しをもつことができるようにする。また、作品を読む課題について解釈を伝え合う学習場面では、児童の課題意識や読みの実態を基に課題を設定し、主体的に読み深めていくことができるようにしたい。

② 自分の考えが思わず話したくなる対話

作品の課題に対する解釈を伝え合う学習場面では、その目的や児童の実態に応じて意図的にグループを構成し、児童が必要感をもって進んで対話活動に取り組むことができるようにする。

③ 自分の考えと友達の考えをつなげて学びを自覚する振り返りの工夫

互いの考えを交流する際に全文シートを使用し、根拠となる叙述を比べながら聞いたり、交流を通して気付いたことをメモしたりし、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3 単元の指導目標

- 作品の魅力について自分の考えを明確にしながらか作品を読もうとしたり、対話を通して、進んで自分の考えを広げたり深めたりしようとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめたり、互いの考えを交流して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと】
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持つことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の魅力について自分の考えを明確にしながらか作品を読もうとしたり、対話を通して、進んで自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情や行動、情景を表す表現を捉え、自分の考えをまとめている。 (読エ) ・ 互いの考えがどのように共通したり相違したりしているかを明らかにしながら対話し、新たな考えを生み出したり、叙述と関係付けて自分の考えをまとめたりしている。 (読オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語感や言葉の使い方に対する感覚について関心を持ち、心情を表す情景描写などに気付いている。 (言イ(カ))

5 単元の指導計画・評価規準 (全8時間)

次	学 習 活 動	○主な指導上の留意点 ◆評価規準 <評価方法>
一	① 学習課題「すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう」を設定し、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の魅力の観点を知る。 ・ 既習教材を用いた「みりよくカード」を確認し、学習のゴールを明確に持ち、学習計画を立てる。 ・ 学習材「大造じいさんとガン」を聞き、初発の感想を書く。 	○ 既習の学習材を用いた物語の紹介を提示することで、意欲付けを図るとともに、「物語の魅力伝え合う」活動のイメージを持たせる。 ◆ 作品の魅力について自分の考えを明確にしながらか作品を読もうとしたり、対話を通して、進んで自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 【関・意・態】 <態度・発言・ノート>
二	② 登場人物の人物像を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造じいさんと残雪の人物像をまとめる。 	○ 大造じいさんと残雪の心情や行動描写から、それぞれの人物像について自分の考えを持たせ対話を通して深めていく。 ◆ 心情や行動描写から、登場人物の人物像を捉えている。 【読エ】 <発言・ノート>
	③ 大造じいさんと残雪の関係を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪との関わりの中で、大造じいさんの心情がどのように移り変わっていくかを読み取る。 	○ 四つの場面ごとに、残雪に対する大造じいさんの心情を捉えさせる。 ◆ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写から、登場人物の関係の移り変わりを捉えている。 【読エ】 <発言・ノート>
	④ 情景描写から大造じいさんの心情を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情景について確認する。 	○ 情景描写を見つけさせ、大造じいさんの心情を想像させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景描写から大造じいさんの心情の変化を想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 登場人物の心情を表す優れた叙述について具体的に想像している。 【読エ】＜発言・ノート＞
	<p>⑤ 大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わった一文を探し、理由とともに話し合う。 ＜本時＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大造じいさんの残雪に対する見方が変わった場面を確認する。 ・ 大造じいさんの心情の変化が分かる一文について対話する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大造じいさんの残雪に対する見方が変わったことを確認し、どこでどのように変わったのかについて自分の考えを持たせ、対話を通して読み深めていく。 ◆ 登場人物の関係が変化する描写を捉え、自分の考えをまとめている。 【読エ】＜発言・ノート＞
	<p>⑥ 自分が感じた物語の魅力伝えるために、工夫してまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の魅力のまとめ方を確認する。 ・ 「大造じいさんとガン」の魅力を考え、みりよくカードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに考えたことやノートにまとめたことを基に、物語の魅力をまとめさせる。 ◆ 登場人物の心情や行動、情景を表す表現を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 【読エ】＜みりよくカード＞ ◆ 語感や言葉の使い方に対する感覚について関心を持ち、心情を表す情景描写などに気付いている。 【言イ(か)】＜みりよくカード＞
	<p>⑦ 引用部分の音読の仕方を考えるなど、発表の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印象に残った場面から引用部分を選び、音読の練習をする。 ・ 音読を聞き合い、アドバイスし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の魅力の伝え方について確認させ、引用して音読練習に取り組みさせる。 ◆ 語感や言葉の使い方に対する感覚について関心を持ち、心情を表す情景描写などに気付いている。 【言イ(か)】＜みりよくカード＞ ◆ 言葉の使い方に対する感覚について関心を持ち、テーマに関する象徴的な表現に気付いている。 【言イ(か)】＜学習シート＞
三	<p>⑧ 互いに感じた物語の魅力聞き合い、自分の考えと比較して感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のみりよくカードと共通点や相違点をさがしながら交流する。 ・ 交流を通して新しく気が付いたことや、友達の考えから学んだことなどをまとめる。 ・ 単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流のポイントを確認させてから、自分の考えとの共通点や相違点を意識させながら交流させる。 ○ 優れた表現について自分の考えをまとめたことにもふれ、単元の学習を振り返らせる。 ◆ 互いの感想がどのように共通したり相違したりしているかを明らかにしながら交流したり、新たな考えを生み出したり、複数の叙述と関係付けて自分の考えをまとめたりしている。 【読オ】＜発言・ノート＞

6 本時の指導

(1) 目標

登場人物の関係の変化を捉え、描写から心情の変化についてまとめることができる。【読工】

(2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 ◆評価 <評価方法>
1 学習計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を基に、単元における本時の位置付けを確認する。 残雪に対する大造じいさんの見方が変化したこと、それは三の場面であることを確認する。
2 本時の学習課題をつかむ。	
大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わったことが分かる一文はどこだろうか。	
3 学習の見通しを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習のゴール、学習プロセスを確認し、児童が主体的に学習に関わることができるようにする。
4 学習課題を解決する。 (1) 自分の考えをもつ。 (2) グループで対話する。 (3) 全体で交流する。 (4) 課題に対する自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 残雪に対する大造じいさんの見方が大きく変わった一文を見つけさせ、理由をノートにメモさせる。 自分の考えを基に、少人数で話し合い、自分の考えをはっきりさせる。 残雪に対する大造じいさんの見方が大きく変わった一文を共通認識し、どのように変化したのかなどについて全体でまとめる。 教師は児童の考えに寄り添いながら発表された考えを板書にまとめていく。 対話を通して読み深まった自分の考えをまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◆ 登場人物の関係が変化する描写を捉え、自分の考えをまとめている。 【読工】 <発言・ノート> </div> <ul style="list-style-type: none"> 中心人物の心が大きく変わることがはっきりわかる一文を「山場」または「クライマックス」ということを指導する。
5 本時学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容や学習プロセス、対話のよさなどを振り返り、自分の学びを自覚させる。
6 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は、これまでの学習を生かして「みりよくカード」を書くことを確認し、意欲付けを図る。

(3) 評価

評価規準 <評価方法>	◆ 登場人物の関係が変化する描写を捉え、自分の考えをまとめている。 【読工】 <発言・ノート>
記述例	<ul style="list-style-type: none"> 「が、なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました。」が残雪に対する大造じいさんの見方が大きく変わった一文だと思う。それまではいまいましいやつだった残雪をたおそうとしていたけど、残雪に対する接し方が変わって、ガンの英雄と思うようになった。 (大造じいさんの行動描写から心情の変化を捉える。) 「大造じいさんは、強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」が大造じいさんの心情が大きく変わった一文だ。それまでは残雪もただの鳥だったけど、堂々と戦いたいと思わせるようなえらぶつに変化している。 (大造じいさんの心情の変化が明確な叙述を捉える。)

